

ももとせ 便り

特集

開運！
パワースポット探訪⑤

願かけ狐に 願いを込めて

〜馬橋稻荷神社〜

季節の
開運ポイント

神宮館社長

木村 通子

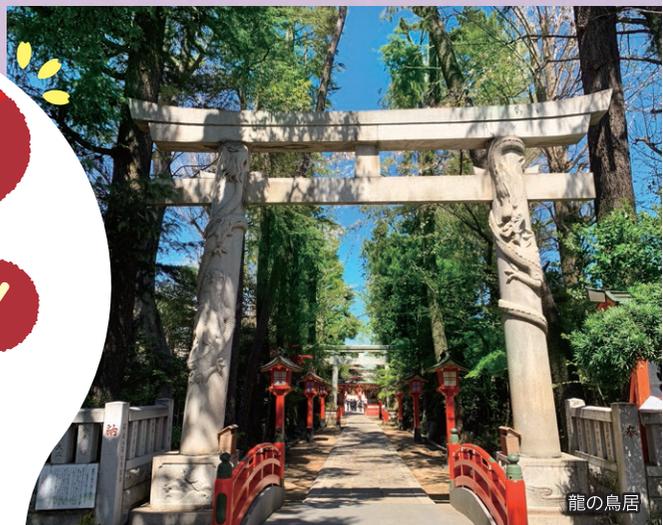
秋の節気で3番目にあたる白露は、残暑が過ぎて本格的な秋が訪れる9月8日頃です。この時期は、草の先に朝露が降り、朝日が当たると白く輝いてとても美しく見えます。陰陽五行説では秋の色は白です。「清潔・清純」などの印象を与えるため、白いシャツやブラウス、薄手のセーターなどを着ることで対人運が上昇します。

9月9日には重陽の節句を迎えます。中国では、陽の性質を持つ奇数の中で、一番大きい数字の「9」が重なるこの日をめだたい日とし、かつては菊酒を飲んで邪気払いや長寿を願う習慣がありました。菊の花を活け、栗ご飯を食べてお祝いしましょう。

また、この頃に十五夜があります。空気が澄み渡り、一年の中で月が最も美しく見える夜は、ススキを飾り月見団子をお供えて、月を愛でてください。



馬橋稲荷神社



龍の鳥居

JR阿佐ヶ谷駅または高円寺駅から徒歩約10分、東京都杉並区の住宅街に佇む馬橋稲荷神社。稲荷神社はもと農業の神様（五穀豊穡）として農民に信仰されていたが、江戸時代になると商売繁盛の神様としても祀られるようになり人気となった神社で、全国に数多く建立されている。稲荷神の正式名は「宇迦之魂神（うかのみたまのかみ）」で馬橋稲荷神社の御祭神でもあり、商売繁盛、五穀豊穡、良縁成就の御利益がある。お稲荷さんと聞いて思い浮かぶ狐は、稲荷神のお使いとされる。その狐に願いを届けてもらうために訪れた。

降り龍がその願い事を叶えてくるのだそう。狐に願いを届けてもらうつもりだったが、まずは龍に届けてもらうことに。

さらに奥に進むと稲荷神社でお馴染みの狛狐。筆者は狛犬が好きなので、狛狐のスマートなかわさきにも惹かれるものがある。右の狛狐は子連れだった。さらに奥に進むと随神門という



な白い狐がずらりと並んでいる。これは、社務所で受けることができ、願かけ狐で、底に開いている穴に、願い事を書いて紙を入れて神様に届けてもらう。紙を入れた狐は神社所定の



DATA

馬橋稲荷神社

(まばしいなりじんじゃ)

東京都杉並区阿佐谷南2-4-4

〈社務所受付時間〉8:30~18:00

場所に納めるか、持ち帰って神棚などに飾っても良いそう。狛狐の足元に並んでいた狐たち一つ一つにそれぞれの願いが詰まっているのだと思うと感慨深い。愛らしい狐を見ていると置いて帰るのはさみしかったので、今回は神社に納めるのではなく持ち帰ることにした。

神様に願い事を届けたときは小さな狐に託しに、馬橋稲荷神社に訪れてみては。



願かけ狐に願いを込めて

馬橋稲荷神社

パワースポット探訪 ⑤



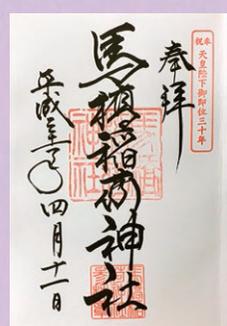
▲随神門の大鈴

立派な門がある。見上げると中央に大きな鈴。馬橋稲荷神社の目玉の二つである開運の大鈴だ。この大鈴の下で願い事を唱えながら手を叩き、音が響けば願い事が神様に届くとのこと。次は大鈴を使って届けてもらうことに。

さらに奥に進み、社にお詣りを済ませる。ふと左右を見るとここにも狛狐がいるのだが、足元には小さい



▲願かけ狐(髭のある狐が雄、ない狐は雌)



▲馬橋稲荷神社の御朱印

四季の移ろいを感じ楽しむ

七十二候

1年を24等分した二十四節気(立春・春分など)を、それぞれ3つの「候」に区切った節目を七十二候といいます。移ろう季節を愛でる日本人の豊かな感性を象徴しています。

処暑 末候

禾乃登

こくものすなわちみのる

9月2日～9月7日頃

秋風にそよぐ稲穂の波が
黄金色の大海原を描く



きざし 稲穂



料理 秋刀魚の塩焼き



野菜 薩摩芋



虫 松虫

暑さが止むという意味をもつ「処暑」は、残暑に汗ばむ日々の中で時折吹く涼やかな風に、秋の訪れを感じられる時期です。そんな時、見上げると、夏の入道雲と秋のすじ雲が同時に現れる「行合いの空」が見られるかも。夏から秋への移り変わりを描くこの季節ならではの絵を楽しみたいものです。処暑の最後を締める候が「禾乃登」。「禾(のぎ)」は豊かに実り頭を垂れている稲穂を、「登」は成熟する作物を表します。一面に広がる稲穂が秋風を受けて一斉に波打つ様子は、まるで黄金色の大海原。この光景に、はるか昔から人々は魅せられ、命の源ともいえる作物「米」が生命力いっぱい躍動する姿に歓喜したのです。

開運ポイント

収穫の秋。今年もお米を食べられることに感謝を忘れずに。稲穂が金色に染まる季節、財運を取り込む願いを込めて、財布を新調してみてください。

季節を飾る

花コーデ

テーマ 小菊

西洋での「菊は墓の前に置く花」と言う風習が日本に広まり、菊は葬式や墓に関係する花として使われるようになった時代背景があります。しかし日本では国花として親しまれ、天皇家の家紋として格式の高い花です。冠婚葬祭の全てに活躍する「元氣」「純情」「真実」の花言葉を持つ可愛い「小菊」をアレンジしてみました。

* 食卓を彩る

ミニフラワーをつる物植物で繋げると、食卓を彩るガーランドフラワーアレンジになります。食欲の秋にピッタリな栄養バランスの良い3色「赤・黄・緑」の小菊を色ごとに分けて、奇数個を等間隔に並べるとバランスの良いコーディネートに仕上がります。



* 空間を飾る

十五夜お月さまを運ぶ、可愛いウサギさんたちをテーマに、気持ちの活力を高める3色、赤・黄・緑の小菊で大きくアレンジしました。丸型花器の直径1/2の長さに切りそろえた小菊を、給水ポンジの中心に向けて角度を合わせ、回しながら差すのがコツです。



監修 下山 千津子 先生

工夫次第で身近な花が大変身！花のある素敵なライフスタイルをお届けします。季節の花を日々の暮らしの中に取り入れ、心安らぐ空間、色遣いの楽しさをご提案する「花空間おもてなしプロデューサー」。おもてなしChizu主宰。





▲残雪を頂く立派な富士山



▲神秘的な国の天然記念物・忍野八海

今年山から力を頂くと縁起が良いとされる、八白土星の年。富士山の守り神・木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)を祀る浅間(せんげん)神社二社を訪ねました。まずは北口本宮富士浅間神社へ。杉の参道を進み御本殿で祈願を受け、特別に郡内織の御朱印帳袋をいただき顔がほ

日本最高峰にご縁の深い神社で開運

ころびます。神主様による境内案内では、富士山に関するお話を伺いました。昼食に郷土料理のほうとうを味わった後は、富士山の伏流水が水源の美しい忍野八海で癒しのひととき。東口本宮富士浅間神社では珍しい親子の狛犬や長寿亀石を堪能し、富士山の恵を大満喫したツアーとなりました。

神宮館 REPORT

第4回 開運ツアー 「富士浅間神社を巡る旅」

2019年4月19日(金) 開催



《 次回告知 》

伊勢神宮初穂曳ツアー、10月開催!
こよみの著者と行く特別なひとときを
※詳細はお問い合わせください。

1		2	3
		4	
5	6		
7			

” 暦 “ の クロスワード パズル

A~Cの順に並べて1つの単語を作ってください

タテのヒント

1. 秋の夜長に癒しの音色を響かせる
2. ばかばかしい話
3. 鶏のとさかのような花を咲かせる
6. 祭礼に繰り出す飾り屋台

ヨコのヒント

1. 茸の王様のような存在
4. 英語アルファベットの25番目
5. 役に立たないこと
7. トウガラシやピーマンとは同種の緑色の野菜

応募方法

郵便はがき

「お名前」「郵便番号」「住所」「電話番号」「生年月日」「クイズの答え」「ご意見・ご感想」を必ず明記ください。

応募先 〒110-0015 東京都台東区東上野1-1-4 株式会社神宮館 「ももとせクイズ」係

インターネット

<https://jinguukan.co.jp/momotose-present/>
右のQRコードを読み込み、応募フォームにアクセスしてください。



応募締切 2019年9月末日

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※前回の答え「ドヨウ」

今回のプレゼント

招福お財布守り (恋愛運または金運アップ) 4名様

※写真と異なる場合があります。



頭の体操 塗り絵をしよう!!

色鉛筆一つでできる「塗り絵」。色の選択と調和を想像したり、手先を使って行う事で、脳が生き生きとすることが分かっています。好きなように、自由に色を塗って、脳を活性化しましょう。

〈 今号のお題 〉 果物狩り

